

地域自然環境を活用した保育—智頭—

森のようちえん「まるたんぼう」における地域自然環境の活用と保育環境及び研修モデルの開発

【目 的】

「智頭町森のようちん まるたんぼう」(2009年4月開園)と連携し、本学においては、地域の自然環境等を十分に活用し得る保育士の養成に資する。同時に、「森のようちえん まるたんぼう」にとっては、学生をボランティアスタッフとして受け入れることで、保育内容の充実を図る。また、「森のようちえん」における子どもの育ちを調査することで、地域の将来に有益なデータを蓄積するものとする。

【概 要】

- (1)鳥取大学地域学部地域教育学科幼児教育コース学生を中心にボランティアスタッフとして「森のようちえん」の保育に参加する。その中で、地域の自然環境を活用できる保育者の養成を行う。
- (2)①自然を活用したあそびモデルの開発、②「森のようちえん」の保育者研修モデルの開発を行い、地域における保育・子育て力の向上を図る。

【キーワード】 森のようちえん、自然環境、遊び、保育者養成、保育者研修、保育・子育て力

【参加メンバー】 地域教育学科：塩野谷齊（統括、保育者養成・研修モデル開発、あそびモデル開発）
高橋千枝（保育者養成・研修モデル開発、あそびモデル開発）
畑千鶴乃（保育者養成・研修モデル開発、あそびモデル開発）
鈴木慎一郎（保育者養成・研修モデル開発、あそびモデル開発）
大学教育支援機構教員養成センター：大谷直史（あそびモデル開発）

【計 画】 1年次 森のようちえんの実態を把握する。そのため、「まるたんぼう」をはじめとする県内外の森のようちえんの保育経営等の調査を行う。
2年次 1年次の分析を踏まえて、継続的な観察研究を行い、自然環境を活用した遊びのあり方、保育者養成と研修の実態と可能性を調べる。
3年次 1、2年次の結果を中心に補足調査を加えて、森のようちえんを活用した保育者養成及び研修のモデル化、遊びモデルの開発についてまとめる。

【地域連携先】 鳥取県農林水産部森林・林業総室森林づくり推進室
〈参考〉県予算について 2011年度より3年で200万円
初年度50万円、2年目44万円、3年目106万円